

課題

【小・国語】 図表やグラフ等を用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することが苦手

手立て

図表やグラフの特徴を知った上で目的に応じて適切な図表やグラフを作成したり、本や文章から引用して用いたりする

単元例「コピーライターになって、米作りの魅力が伝わるポスターをつくろう」

具体例

POINT① 様式にあった表現・構成要素を意識した学習の流れ

- ① ポスターの特質を知る。
- ② ポスターの要素をまとめる。
- ③ ポスターの組み立てを知る。
- ④ ポスターの目的や相手の意図に応じてポスターをつくる。

取材・編集・編集会議・整理

「どのようなポスターだったら、見る人を惹きつけるのか」という問題に目を向け、身近なポスターや広告を分析する活動を行い、普段よく目しているポスターの特質や役割に改めて気付くことから学習をはじめましょう。



POINT② グループワークの目的と編集の視点 (様式にあった表現・構成要素)の明確化

- プロがキャッチコピーやポスターを作る時の工夫を知り、そのポイントを明らかにする。(実際に街に掲示されているポスター分析・書籍での調べ学習など)
- 自分たちの作ったポスターを個人やグループで見直すことで、全体のバランスや要素の関わり合いを考えながら、総合的に考えて取捨選択してレイアウトしていく。
- 伝えたい相手に効果的に伝わるか、目を引くデザインやコピーになっているかという視点でグループワークを行う。

POINT③ 推敲・編集会議・振り返り・評価を兼ねた ポスター作りのチェックシート

- ポスターから伝わったこと、それが「キャッチコピー」「絵や図表」「配色」「レタリング」など、どの要素から伝わったのか記入する。
 - 伝わること ・相手は誰? ・「売り」は何?
 - ・どんな感じがする?(優しい感じ、固い感じ、渋い感じなど)
- ポスターの要素 ・キャッチコピー ・レタリング ・絵・図表・グラフ
- ・レイアウト ・配色 等
- チェックをもとに、どう改善するのかをまとめる。

見る相手を意識し、言葉や資料を選んだり、「こんな人に来てほしい」という目的意識に合わせて推敲したりする力を高めるのに役立ちます。

